

こころの教室だより

令和6年 2月 発行



「心の教室」相談員 日裏 つかさ

昔から『一月は行く、二月は逃げる、三月は去る』といます。

お正月から新学期までの一月～三月までがあっという間に過ぎていくということのたとえです。それだけに、この残りの少ない三学期を大切にすごしましょうね。

さて、いつも山田小学校に来ると感心することがあります。

それは、20分休みやお昼休みが終わるチャイムがなると、運動場で遊ん

でいた人たちがサーと校舎の方に走ってそして教室へ入ります。

特に6年生の人が素早くそのことができるのできっと全校みなさんの

いいお手本になっているのですね！

山田小学校のとてもしっかりとした伝統ですね！

保護者のみなさんへ

1月号で書きました、愛の発信の続きを書きたいと思います。

家庭は子どもたちに対して、最も愛が伝えられる場所であり、しっかりと子どもを愛してそして子どもが将来困らないようにしつけていかななくてはならない場所です。朝起きて「おはよう！」と、まず声を交わしてください。その時の子どもの声のトーンや表情をみて、どのようにご家族が子どもに声を掛け合うのか、そこから愛の発信がはじまります。又このシリーズは3月号へ。

来室の不可能な時は、電話でのご相談も受け付けております。

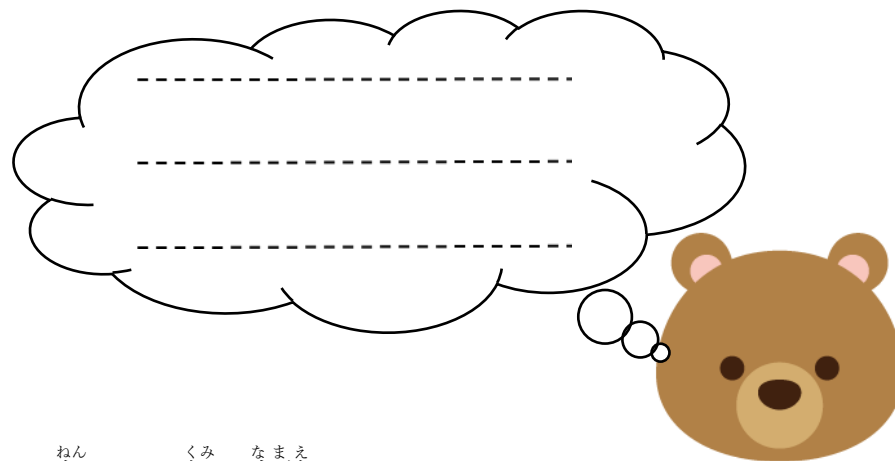
2月、3月の相談日

2月7日(水)、14日(水)、21日(水)

3月6日(水)、18日(月)

きりとり

～*～*～ なんでもコーナー ～*～*～



きりとり

ねん ぐみ なまえ
年 組 名前